DENSO

# 11月度 例会 個人 山 行 報 告 書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 報告者 | 天野　広 | 参 加 メンバー | CL:山田、SL：森<br>亀山、町田、天野 |
| 報告日 | 12／02 | | |

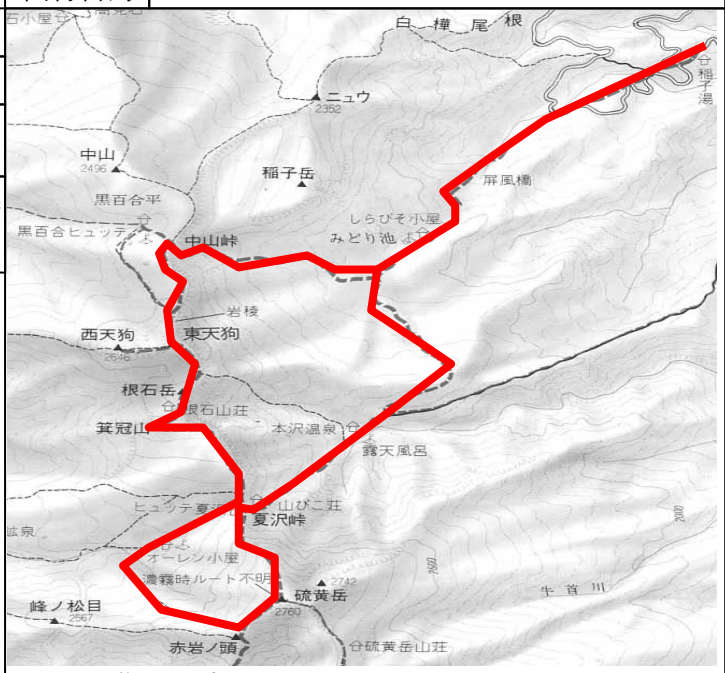
| | | | |
|---|---|---|---|
| 山 域 | 北八ヶ岳 | 山行日 | 12 年 11 月 09 日（金）～<br>12 年 11 月 11 日（日） |
| 山 名 | 硫黄岳～天狗岳 | | |
| 山行目的 | 冬山合宿偵察　縦走 | | |

配布先

集会:12

山行: 1
ﾘｰﾀﾞｰ

原 紙：集会担当者




2.5 万分の 1 地図：蓼科、松原湖

コースタイム（天候：天気図記号）

11/09
19:10 本社 N1 駐車場発
23:30 道の駅南清里着

11/10　晴れ（6H30M）
05:00 起床
05:30 道の駅発(南清里)
07:07 稲子湯発 1500m
08:07 一本 1850m
08:50 夏沢/中山峠分岐
09:15 一本 2115m
09:58 本沢温泉着
　　一本 2110m
10:20 本沢温泉発
11:07 夏沢峠着
　　一本 2430m
12:20 硫黄岳山頂
　　一本 2760m
13:35 ｵｰﾚﾝ小屋着

11/11　薄曇り（5H)
04:00 起床
05:50 ｵｰﾚﾝ小屋発
06:15 夏沢峠一本
07:05 根石岳 2603m
07:35 東天狗岳一本
　　2640m
08:35 中山峠一本
　　2400m
09:30 夏沢/中山峠分岐
09:35 しらびそ小屋一本
10:50 稲子湯
17:25 部室

〈山行報告〉稲子湯に駐車し、各自朝食･準備を行い出発。天候に恵まれﾃﾝｼｮﾝも上がる。唐沢橋を渡ると、先程通ってきた途中にあるという事がわかり、ここに駐車すれば少し時間が稼げる。ﾐﾄﾞﾘ池には薄氷が張り、稲子岳の景色が美しい。中山峠との分岐を左に進み、少し下った所で林道に降りた。少し行くとｷｬﾝﾌﾟ場があり本沢温泉に到着した。日本一番高い野天風呂と看板に表示され硫黄の臭いが漂っている。他のﾒﾝﾊﾞｰは以前に長嶋（旧姓）さんと混浴したと聞き、羨ましかった。ここからはかなりの急登を覚悟して登ったためか、思っていたよりあっさり夏沢峠に到着した。一本取り景色を眺めると、唐松の紅葉と落葉で茶色の絨毯が美しい。本日のﾒｲﾝである硫黄岳に向かい出発。森林限界を越え岩場に出ると硫黄岳の爆裂火口が見え感激。頂上がはっきり見えもうすぐ登頂と思ったが、なかなか着かなく結構苦しかった。頂上では、南に横岳･赤岳･阿弥陀岳･振り返ると明日行く箕冠山･根石岳･天狗岳がはっきり見え心が躍る。東京から来ていた山ｶﾞｰﾙが爆裂火口の景色にｷｬｰｷｬｰ言っている。赤岩の頭からｵｰﾚﾝ小屋に向かう。この下りが曲者で、階段状になった所が凍りﾂﾙﾂﾙのため、一度転倒しかけてからはへっぴり腰となり、降りるのに時間を掛けてしまった。ｵｰﾚﾝ小屋に着く直前に森さんの目前をｶﾓｼｶがのっそりと横断して行く。人がいても悠然と木の葉を食べている姿を写真に収めた。翌日は夏沢峠に戻り、昨日見たﾙｰﾄを天狗岳まで縦走した。ﾋﾟｰｸ間のｺﾙでは冬型の気圧配置になると強風が吹き、08 年の冬合宿では根石岳の直前で撤退したとの事。中山峠までの下りは岩場で時間を掛けてしまった。峠からの降り口は急で、冬合宿のとき注意が必要と思った。雨に降られる前に下山でき、握手で無事を祝った。
冬山偵察を自分にとって秋合宿と位置付け、また 1 年 4 ヶ月ぶりの山中泊に心をときめかせていた。体力に心配があったため、自分なりのﾘﾊﾋﾞﾘ登山･ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを行ってきたため、バテなかった事で自信が持て良かった。

〈リーダー所見〉 好天とメンバーの頑張りにより、予定通りの行動が出来た。積雪期を想定し、デジカメでの登山道の撮影や、迷いやすい個所のチェック出来たので、目標を達成出来たと思います。この時期の山行は天候が安定し紅葉が綺麗なので、来年はもっと多くのメンバーとご一緒したいと思います。

フリースペース

天狗岳頂上での集合写真

確認
(ﾘｰﾀﾞｰ)
山田
12/12/10

作成
(報告者)
天野
12/12/09